



季節を感じて

10月も半ばを過ぎたのに、まだまだ汗ばむような陽気の日もあります。が、秋竹小の校庭を見ると、季節は確実に進んでいることがわかります。真っ赤に咲き誇っていた彼岸花は、その色を失い、代わって彼岸花の葉が鮮やかな緑を彩っています。また、中庭にあるみかんの木には可愛らしい実が、木々は、緑から黄色や赤へと装いを変えつつあります。



そんな秋を感じる中で、1年生は生活科の学習「あきをたのしもう」で、『秋見つけをしました。秋の虫を探したり、色づいた落ち葉を集めて名前を確かめたり、中には、自分たちの顔ほどもある大きな葉っぱを拾っている子もいました。最近、暑い夏からいきなり寒い冬へと季節が変わり、秋を感じる期間がたいへん短くなったように思いますが、やはり、自然の変化を感じ取ることでできる豊かな心をもった子どもたちを育てたいものです。



地域に見守られて

「先生、通学路が水浸しで、工事が始まっていますよ。子どもたちの下校は大丈夫ですか。」

18日(木)、お昼過ぎ、地域の方からお電話をいただきました。さっそく、現場を確認しに行くと、水道管の破裂で、通学路は水浸し。作業員数名が大きな穴を掘って、作業の真っ最中でした。そこは、秋竹南の通学班が通る道で、たいへん危険な状態でした。現場の方も下校時には作業を中断してくださるとのことでしたが、学校からも付き添い下校をしました。

お電話をいただいたことで、危険を回避することができました。地域の方に見守っていただいていることを実感しました。



学びを深めて

- 10月 3日(水) 東邦ガス出前授業(5年)
- 16日(火) 福祉実践教室(4・5・6年)
- 18日(木) 食の指導(4年)
- 19日(金) ストップ温暖化教室(4年)

スポーツの秋、読書の秋…いろいろな秋の楽しみ方がありますが、秋竹ではなんと言っても「勉強の秋」。普段の教科書をもとにした授業とは一味違った勉強をしています。

福祉実践教室では、物だけでなく心のバリアフリーをめざすことの大切さや、実際の体験の中から自分たちにできることは何かを考えることができました。

また、食は健康の基本ともいえますが、食の指導では、おやつについて学びました。体によいおやつの食べ方(種類や量)を心がけていきたいものです。

11月1日には、全校での芸術鑑賞会が予定されています。次回は、「芸術の秋」ですね。

悲しいニュース

寿命だったのでしょうか、月曜日の朝冷たくなっている1羽のインコが発見されました。環境委員会の子どもたちが一生懸命お世話をしていたのに、たいへん悲しいことです。お墓は、北館の裏に作りました。

